

令和4年10月18日研究公開報告

令和3・4年度大隅地区研究協力校研究公開

志布志市立田之浦小学校で

「指導法改善（ICT・複式）」についての研究公開が開催されました。

令和4年10月18日（火）に、志布志市立田之浦小学校にて、大隅地区研究協力校「指導法改善（ICT・複式）」の研究公開が行われました。田之浦小は、研究主題を「主体的に学ぶ児童を育てる学習指導の在り方～児童が「できた！」と感じる算数科の授業を通して～」と設定し、2年間実践的な研究に取り組んでこられました。当日は、2年間の研究の積み上げが感じられる学習環境の整備、教具の準備がなされており、参加者にとって大変参考になるものとなりました。また、新型コロナウイルス感染症対策も徹底しており、充実した日程で素晴らしい公開となりました。



【閉会のあいさつ】
長野 則子校長先生

【研究発表】

田之浦小は、算数科の授業において、「複式学級における指導法改善」と「ICT機器の活用」に焦点を当て、「学習の見通しをもたせるための工夫」や「振り返りの設定」、「確実な見届け」など、日々の実践を一つ一つ積み重ねながら、全職員が一体となった研究を進めてこられました。その研究の概要と成果等について、研修係の瀧先生が発表されました。参加者が今後自校で参考にしやすいように、研究の歩みまで丁寧に述べられていました。



【研究発表の様子】

【授業研究】

分科会は、ワークショップ型形式で行われました。2つの仮説に基づき、4つの視点を中心に熱心な協議が進められました。

特に、「他校との遠隔合同授業による単式指導」や「発問の精選（三角ロジックの意識化）」については、参加者の興味・関心が高く、活発な意見交換がなされていました。授業者へも多くの質問が寄せられていました。



【授業研究の様子】

【公開授業：複式第1・2学年 算数】

単元 1年「たしざん」

単元 2年「かけ算(1)」

「複式学級での直接指導の時間を増やす」という視点から、志布志市立森山小学校1・2年生との遠隔合同授業が継続的に実施されています。



【1・2年生の授業】

2セットの遠隔教育システムを使って複式学級の同学年同士をつなぎ、教室内の前後に分かれて学年別の指導が行われていました。直接指導の時間や多様な意見・考えに触れる機会が増えていました。

【公開授業：複式第3・4学年 算数】

単元 3年「円と球」

単元 4年「式と計算」

「見通す」過程では、ガイドが円滑に進められるように、前時との違いから「めあて」の設定を行うようにしていました。また、「ずらし」によって、児童による「見通し」の様子を、教師が確実に見届けられるようにしていました。



【3・4年生の授業】

また、児童の主張（発表）に対しては、三角ロジックを意識した発問を行い、その根拠となる事実や理由を引き出していました。